

第102回教育研究評議会議事要録

日 時 平成25年4月8日（月）14時00分開会～15時10分閉会

場 所 本部5階大会議室

欠席者 なし

陪席者 山崎監事

議事に先立ち、学長から、就任2年目を迎えるにあたり、これまでの協力に対し謝辞が述べられるとともに、今後も大学改革への取組みを強化すること、また、地域に求められる大学として、地域の活性化に貢献できる人材育成等に尽力したい旨説明があり、引き続き各学部等に協力の依頼があった。

次に、学長から新役員、新部長及び新評議員の紹介並びに塩飽理事から4月1日付け人事異動に伴う新任の部長、課長及び事務長の紹介があった。

続いて、第101回教育研究評議会の議事要録が承認された。

議題1. 教員の休職の延長について

塩飽理事から資料に基づき、現在病気休職中の学術情報機構の教員について、本人の同意が得られたため休職期間を平成25年4月1日から平成25年9月30日までの間延長すること、また、評議会への付議が事後となったことの経緯等の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題2. 学生の懲戒について

平成24年度後期期末試験において不正行為を行った法文学部の学生及び平成24年度前期において「学校教育実践研究Ⅰ」の最終まとめポートフォリオを代筆させた教育学部の学生に係る懲戒処分について、それぞれ該当学部長から事件の概要及び処分内容等の説明があり、審議の結果、法文学部の学生については、停学3週間及び平成24年度後期に修得した全授業科目の単位を無効とすること、教育学部の学生については、停学3週間及び「学校教育実習Ⅰ・学校教育実践研究Ⅰ」の体験時間（50時間）を認定しないことが承認された。

報告事項

報告事項2. 塩飽理事から資料に基づき、文部科学省へ提出した平成25年度計画について報告があり、PDCAサイクルにより作成した学内版については、平成24年度実績報告の作成と並行し、各部局と協議しながら整理する予定である旨説明があった。

報告事項3. 財務部長から資料に基づき、予算編成方針に基づき作成した平成25年度の学内予算配分について、各予算事項別概要及びその増減内訳等の報告があった。

報告事項4. 肥後理事から資料に基づき、平成25年度入試の実施状況及び各学部・研究科における志願者数等の経年変化について報告があった。

報告事項5. 肥後理事から資料に基づき、平成25年3月卒業・修了者の就職内定・進学決定率及び企業への就職希望者のみを対象とする企業内定状況等について報告があった。

報告事項6. 山崎監事から資料に基づき、平成25年度に実施する監査の実施事項、監査方法及びスケジュール等について説明があり、併せて監査実施への協力依頼があった。

報告事項 7. 塩飽理事から資料に基づき、同窓会連合会地域支部との連携強化や看護師等医療職員確保を図るため広島オフィスにおける支援業務を拡大すること、また、これに伴いオフィスマネージャーの新設、開所時間の延長及び事務の所掌を教育・入試企画課から総務部総務課に変更したことの報告があった。

報告事項 8. 塩飽理事から資料に基づき、平成 24 年度下半期における島根大学支援基金及び平成 24 年度から新たに設けた冠寄附の申し込み状況等について報告があった。

報告事項 9. その他

(1) 田籠評議員から、改修工事中であった附属図書館が 4 月 4 日にリニューアルオープンしたことについて報告があり、工事期間中における学習スペースの提供等各学部の協力に対し謝辞が述べられた。また、資料に基づき、改修後の附属図書館の概要について説明があった。